

# 宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール [jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp](mailto:jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp)

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



## 《行事予定・案内》

「第32回・おひな祭りの会」(女性委員会主催) 2月28日(土)14時～16時、旭ヶ丘市民センター3F 留学生以外は会費1000円

## オンライン交流推進委員会主催の「第4回日中友好オンライン日本語発表会」

12月21日(日)10時30分、県協会事務局からオンラインで開催され、本年は宮城県在住の中国出身者2名と中国人留学生3名が参加し、自身と宮城県に関わる内容で発表しました。丁虹静さんは、来日して半年。日本語を学習中で、発表会に参加することを通して、発音練習や日本語習得に役立てたいとのこと。協会会員と何回も発音練習をして、日本語が上手になってきたと感想を述べていた。最優秀賞に輝いた肖志君は、来日して2年弱。協会主催の「おひなまつり会」や「ゆかた祭り」等に参加して、楽しい思い出を作り、日中友好交流に関わりたいと感じたそうです。(オンライン交流推進委事務局長・横山弥生)

## 全国スピーチコンテストで東北メンバーが大活躍！

第43回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会が1月11日東京で行われ、東北大会からエントリーした岩手県的那須美佑さんがスピーチ高校部門で第1位・文部科学大臣賞、スピーチ一般部門で宮城県の櫻井彩さんが第3位・人民中国賞に輝きました。

## 宮城テレビで“日中問題”取材に県協会へ！

11月7日の衆院予算委員会での高市首相の「戦艦を使って、武力の行使も伴うものであれば、これはどう考えても存立危機事態になりうるケースだ」との発言が、日中関係に様々な悪展開を起こしている。県協会へも12月8日、宮城テレビの取材があり佐々木会長から“一人一人がこれまで培った民間交流の人脈を大事に、日中間の財産として未来につなげていきたい”等のコメントが夕方のニュースで紹介されました。



## 「魯迅の仙台留学 受け継がれる物語」NHKで！

12月11日の夕方ニュースの中の特集で“魯迅”をテーマにした内容が放映されました。これには11月12日、NHKのディレクターの方が、事前取材のために吉澤千明副理事長と共に県協会を訪れ、放映の参考にされました。



## 大河原町日中で“忘年会”開く

11月29日13時から「和洋亭ぶざん」で2025年度忘年会を開催。当日は鈴木町教育長、丸山町議会議長らの来賓も参加し、ご挨拶をいただきました。また学友会からも4名を招待し、15名での行事となりました。手話による「上を向いて歩こう」「ふるさと」を覚えながら歌い、また「北国の春」を皆で歌う等、交流を深めました。(大河原日中・鈴木事務局長)



## 石巻地区日中の定期刊行「黄河」50号が完成！(県協会ホームページに掲載)

1月1日に発行され、県協会に届けられました。新年の挨拶が県・佐々木会長、新潟総領事館・崔総領事から寄せられたほか、中国語講座参加者の声が寄せられています。